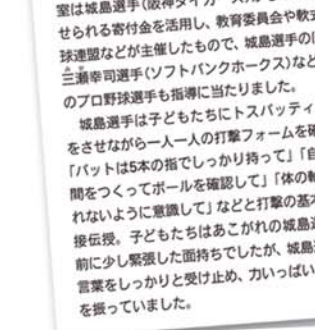




平成21年 3月号



平成22年 3月号



平成17年 2月号

平成21年 情報クラブ 12月号



城島健司選手野球大会
10月18日、佐世保野球場で「第6回城島健司旗争奪軟式野球選手権大会」が開催。21の中学校野球部と14の小学校軟式野球クラブが参加しました。開会式に出席した城島選手は「僕は4、5歳のころから王さんの記録を抜きたいという夢を持っていた。その夢があったからこそプロになれ、メジャーリーグに挑戦できた。みんなも夢を持ち、それに近づけるための努力を続けてください」とあいさつ。選手たちは目を輝かせながら聞いていました。

1月16日(土)、「第7回城島健司少年野球教室」が佐世保野球場で開催され、市内などの中学校22校の野球部員72人が参加しました。教室は城島選手(阪神タイガース)から本市へ寄せられる寄付金を活用し、教育委員会や軟式野球連盟などが主催したもので、城島選手のほか三浦幸司選手(ソフトバンクホークス)など5人のプロ野球選手も指導に当たりました。

城島選手は子どもたちにトスバッティングをさせながら一人一人の打撃フォームを確認。「バットは5本の指でしっかり持って」「自分の間をつくってボールを確認して」「体の軸がぶれないように意識して」などと打撃の基本を直接伝授。子どもたちはあこがれの城島選手を前に少し緊張した面持ちでしたが、城島選手の言葉をしっかりと受け止め、力いっぱいバットを振っていました。



佐世保市市民栄誉賞の受賞おめでとうございます

城島健司選手の現役引退について

本日、本市1人目の市民栄誉賞受賞者である城島健司選手が現役引退を決められましたことを、報道を通じて知りました。

ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)優勝をはじめ、アテネオリンピックでの銅メダル獲得、日本プロ野球界・シアトルマリナーズでの活躍など、城島選手は多くの佐世保市民に感動と勇気を与えてくれました。

本市においては、地元の子どもたちを対象に野球教室などを毎年開催し、本人自らも熱心にご指導いただきましたが、そうした取り組みは子どもたちに夢と希望を与えるものであり、子どもたちにとっても生涯の思い出になったことと思います。

また、長年にわたって本市にいただいたご寄附は、

本年度に完成予定である総合グラウンド野球場のスコアボード改修をはじめ、市政のさまざまな分野で活用させていただいています。スコアボードのこけら落としの際には、現役でのお越しを楽しみにしていましたが、実現することができず、残念でなりません。

このたびの引退は、佐世保市民の皆さんにとっても大変残念なことと思いますが、今後は、日本の野球界において指導者として大いに活躍されることを期待するとともに、本市に対しましてもこれまで同様のご支援を賜りたいと思っています。

最後に、これまで築き上げられた大きなご功績を心からたたえ、感謝の意を表しますとともに、お労いを申し上げます。

平成24年9月28日 佐世保市長 朝長 則男

平成21年 3月号



教室に参加した中学生の皆さん

プロの選手たちとの交流試合

よく見て 振り切れ!

1月17日(土)、「第6回城島健司少年野球教室」が佐世保野球場で開催され、市内21中学校の野球部員73人が参加しました。教室は城島選手(米大リーグ)から本市へ毎年寄せられる寄付金を活用し、教育委員会や軟式野球連盟などが主催したもので、城島選手のほか三浦幸司選手(ソフトバンクホークス)など6人のプロ野球選手も指導に当たりました。

城島選手は子どもたち一人一人の打撃の使い方などを個別にバットの握り方や下身を見て力いっぱい振り切ることが大切。自分本気で振り切る素振りや毎日「スラッ」など地声の後輩たちとアドバイスを交わっていました。

城島選手がバッチャーを務めるプロ野球選手チームと中学生選抜チームとの交流試合では、城島選手が中学生投手から三振を取られる一幕もあり、野球教室は子どもたちにとって思い出深い、貴重な体験になったようです。

教室終了後、城島選手は「教室は地元の子どものために開催し、毎年開催していき、プロ選手を目指すのであれば、常に目標を持って練習してほしい。一緒に練習できる日を大切にしたい」と地元の子どもたちに期待を込めました。



城島健司少年野球教室

お便り

市民の皆さんからのお便り、市政への質問などを紹介します。

質問 「広報させぼ」では、11月3日の行事が11月号ではなく10月号に掲載されているのはなぜですか?

回答 「広報させぼ」は、発行する月の前月の24日から28日にかけて配送業者が各町内会代表者に届けます(11月号は10月24日から28日)。町内会は多いところで約2,400の世帯で構成されるところもあるため、仕分けや配布作業などを考慮し、町内会代表者から各世帯へは、発行する月の9日までに配布していただくようお願いしています(11月号は11月9日まで)。

9日に広報紙が届く世帯の人が読んだときに「行きたい行事が終わっていた」「募集が締め切られていた」というような事態を避けるため、広報させぼに掲載する行事や募集などの情報は、原則、発行する月の10日から翌月10日までに該当する記事を掲載しています(11月号は11月

10日から12月10日の記事を掲載)。このような事情をご理解いただき、10月号と11月号を併用しながら11月の行事などを確認していただきますようお願いいたします。

(例) 広報させぼ11月号の掲載期間など

日	町内会代表者へ配送	末日
10月	11月号編集→印刷→発行	24日 28日
11月	各世帯へ配布	11月号掲載期間 9日10日
12月	11月号掲載期間	10日

※1月号は例外的に12月26日までに町内会代表者へ配送。

☎秘書課 ☎24-1111

広報クイズ

問題の○に当てはまる文字等をお答えください。ヒントは紙面の中にあります。

問題1

平成17年に旧戸尾小学校の校舎を活用し、市民活動の活性化や市民公益活動団体を支援するため、「させぼ市民活動交流○○○」を開設しました。

問題2

ご近所の人同士のつながりが少なくなっている今こそ、○○○の活動がますます重要になっています。

問題3

市民の皆さんと市長が直接、意見交換する会「市長とキラっ〇トーク」。

応募方法

「はがき」または「Eメール」に、①答え②住所③氏名④年齢⑤電話番号⑥広報紙へのご意見を書いて、11月22日(木)までに(消印有効)広報係へお送りください。 ※応募は1人1通。全問正解者の中から抽選します。 ※紙面の都合上、発表は発送をもって代えさせていただきます。

10月号の答え ①25 ②住宅 ③早期

9月号の応募状況 154通(正解135通・不正解18通・無効1通)

11月号当選者プレゼント
開設62周年記念佐世保競輪(GⅢ)
記念QUOカード(1,000円分)を10人に!



記念競輪(GⅢ)については本紙22ページでお知らせしています。「QUOカード」はコンビニ、ファミリーレストラン、ガソリンスタンド、書店などで利用できる全国共通の商品券です。 ※写真のQUOカードは昨年のもので、今回プレゼントするカードとデザインが異なります。

提供 佐世保競輪事務所 ☎31-4797

あて先 ●はがき 〒857-8585(住所不要) ●Eメール hishok@city.sasebo.lg.jp
佐世保市役所秘書課広報係 (携帯電話からも可)